



発行所 伊藤 隆次  
電話 一四七  
小名濱町

クヌシリ  
資生堂  
小名濱町  
電話 一四七

松本富太郎  
本多鶴之丞  
松谷松之助  
小松丑之助  
以上 廿五名  
◎漁船表彰  
(但し本年度も通航のみ)

節婦として表彰された  
はるさんは夫の出征後生  
活困難から軍事情況法の  
適用を受けてゐるが七つ  
を頭に三人の幼児を引連  
れ野菜行商をしてゐる

のである  
明十五日は舊暦一月十六  
日に當り恒例によつて休  
みのミノ修繕業安達郡三和村  
下寺屋生れ佐藤永助(三)と  
些細のことから口論となり  
大立廻りの末泰助坊主は傍  
にあり合せて松丸太で水助  
を殴りつけ顔面に余治三週  
間の傷害を負はせて平署に  
檢舉

橋本豊(三)は十三日午後六  
時頃小川村大字上小川の木  
賃宿鈴木さくさく左で全宿  
のミノ修繕業安達郡三和村  
下寺屋生れ佐藤永助(三)と  
些細のことから口論となり  
大立廻りの末泰助坊主は傍  
にあり合せて松丸太で水助  
を殴りつけ顔面に余治三週  
間の傷害を負はせて平署に  
檢舉

### 小名濱漁業関係の表彰式 けふ小學校で舉行

漁業組合、町、代行郡部、水等から授與

- ▲春職汽船底曳  
▲松丸 一等
- ▲春職揚繰漁船  
▲船長 柳内房義 (船主) 一等
- ▲船内 房吉 (同) 一等
- ▲運徳丸 二等
- ▲芳賀連四郎 (船主) 三等
- ▲全芳賀連四郎 三等
- ▲寶來丸 三等
- ▲高橋 友吉 (同) 三等
- ▲同 小野安吉 三等
- ▲秋職揚繰船  
▲秋職揚繰船 一等
- ▲共徳丸 一等
- ▲柳内 房吉 (同) 一等
- ▲伊藤房義(同) 二等
- ▲勝丸 二等
- ▲三代 義勝 (同) 三等
- ▲同 小野春吉 三等
- ▲連徳丸 三等
- ▲芳賀連四郎 (同) 三等
- ▲芳賀連四郎(同) 三等
- ▲小名濱町より表彰

▲共徳丸、小林繁太郎、市太  
▲第一福、渡邊庄松 ▲第  
一寶來、松原八郎、太田勇次  
▲藤、吉田輝夫 ▲第一共  
運、齋藤末藏、馬太助 ▲  
神澤、由澤喜一 ▲監徳、齋  
藤清一 ▲嘉勝、小野昇 ▲  
來、阿部菊太郎(機關士)  
▲豐來、門馬貞義 ▲福、惠  
▲白土初吉 ▲壯和箱崎武  
▲那水産會より表彰  
▲共榮水夫馬上市造 ▲諏  
訪丸水夫、鹽田富五郎 ▲共  
徳船主柳内房吉船長伊藤房  
義外製家島居東一外七名  
▲代行郡部、城水産工業よ  
り表彰  
▲昭和十二年度優良鮮魚  
商  
▲昭和三十二年優良鮮魚  
特別一等賞 小野 豊次  
一等賞 馬太助 弘次  
櫻井吉五郎  
根本 三藏  
立花新次郎  
(九)小野藤吉  
二等 福榮丸  
竹中竹次郎 (全)  
竹中中茂 (全)竹中茂  
小名濱町より表彰

### 陣中から銃後へ送金

玉川村出身小野野一氏(三)と手紙を添へてきた  
陣中より金拾圓を玉川村  
銃後會に送金し陸軍に  
めした金ですが陣中には必要氏は金十五圓を貧困児童の  
ために銃後會で使つて下つたために全村役場宛に送つた

### 漢方醫學界の權威

講演會と灸術治療  
拓殖大學講師柳谷素靈氏  
十七日から小名濱善行院で

目下知識階級間に慈濟の如治療を行ふことになり病者  
き發價を博し病に對するの一大福音として待望され  
治療實績をあげつゝある漢方、尚ほ氏は日本大學  
方醫學界の權威拓殖大學講師柳谷素靈氏とあると  
柳谷素靈氏は今回小名濱  
町有志の後援により来る十  
七日より十九日まで小名濱  
町日蓮宗善行院に於て灸術  
に對する認識普及の講演會  
を催し且つ灸術希望者には  
和一郎氏妻は(三)さんは  
坑々内々全しく落磐の下登

### 縣工場協會平支部

平署管内の工場經營者百二十  
十七名は縣工場協會と連絡  
協同し會員相互の和睦を計  
り産業の振興擴充を圖るた  
め全協會平支部を結成する  
ことになり十六日午前十時  
から平署會議室に各種工場  
代表十四名からなる發起人  
會を開き協議した  
支部役員は支部長には大  
体八卷平署長を推し副支  
部長二名、理事若干名を  
おく模様である  
大谷家の寄附 平市三丁  
目大谷家では父の遺志に  
より左記各二十圓宛合計  
百二十圓を寄附した  
市教育會、軍事後援會、  
社會事業助成會、消防組  
三丁目青年團、平署旭友  
會

### 日蓮行者

本質宿で舉行  
山形縣米澤市宇東寺町生れ  
日蓮行者と自稱する坊主高

### 鍼灸の權威來町

東京拓殖大學  
漢方醫學科 講師柳谷素靈先生  
一、目的 灸術に對する普及講 演並に  
灸術療法希望者の診療施術に  
應ず

### 小名濱町有志後援會

一、場所 小名濱町中島、善行院  
一、期日 二月十七日より十九日迄三日間

落磐二件  
坑夫二名死亡  
磐崎村上湯長谷小野田炭礦  
坑夫豊治(三)さんは十三  
日午前八時半頃坑内で落磐  
日午後二時頃伊藤武治(三)さん  
は炭礦伊藤武治(三)さん  
全日午前十一時頃第六  
坑内々全しく落磐の下登

母ユキ儀病氣治療中の處二月十日午後  
十時死去仕候間此段御通知に代へ及謹告  
候也  
遺而二月十五日午後一時出棺埋葬仕候  
二月十三日  
小名濱町宇定西十七番地  
男堀越新平  
外親戚一同

### 國民精神總動員と 簡易保險事業

(二)  
 事變勃發以來國民精神總動員が強調されて来たのは國民が時局の重大性と帝國不測の國是を認識し物心兩面に亘つて非常時財政經濟政策の圓滿なる遂行に協力すべき事を要請するものにも他ならないのである、而して事變の重要性が更に加重されて来た今日國民精神總動員を一層強化して堅忍持久愈々國策の遂行に遺憾なくからしめる事は國家非常の際に於て國民の盡すべき崇高な義務と謂はなければならぬ、さて非常時財政經濟政策の圓滿なる遂行は國民精神總動員による消費節約運動の成果に俟たねばならぬ、言ふ迄もなく消費節約は勿論のこと、其の他一般の消費も成るべく之を節約し、以て軍備の充實と國費の調達に達算なきを期するたのであつて之が爲國民の日常生活は物質の統制による物價の騰貴等に因り相當の苦痛をなめねばならぬのであるが、吾々は父祖傳來の犠牲的精神を發揮し克く小我を捨て大我に就き難局の打開に勇躍しなければならぬのである

然しながら一面國民生活の維持發展は國家經濟力の本

和洋金物  
銅鐵 金間屋  
**釜屋商店**  
平市 電話九番 九九番

### 出張所開設

發電機、電動機、變壓器、製作並に販賣、修理  
 船燈、電氣工事、一般請負  
 エチオネオン工事  
**日東電機工業所 小名濱出張所**  
 店主 佐藤 徳之助  
 小名濱町橋本 電話呼二一八番  
 本店 東京市向島區吾吾町西二ノ五八

### 家政婦會員多數募集

各家庭より家政婦の申込みは澤山ありますが會員が不足でこの全部を充す事が出来ませんのでこの際會員多數を募集致します、常には各家庭に居つて會が利用の際に相談に参ります、會員として候前に就つて居れば居ながらにして希望な仕事にあつて申す所を承つて申込み下さい  
**久保田家政婦會**  
 産婆 久保田 イネ  
 小名濱町 電話廿二番

舊年末の宅扱と小口扱貨物は混合ひますから早目に  
**小名濱運送株式會社**  
 小名濱本店 電話一〇六番  
 泉驛出張所 電話十五番  
 江名濱出張所 電話二八番

皇恩會 平市才地小路十二 正 治  
**小松洋服店**  
 值段の—安  
 服型の—新しい  
 仕立の—良  
 磐城海岸軌道線指定

食事 喫茶 酒場 乗ねに  
**レストラン サロン**  
 町田市平 二五三 電

内科・外科 (内臓外科) 整形外科  
**花柳病科・皮膚科**  
 小名濱町仲町  
**石井醫院**  
 電話十八番

内臓外科 レントゲン科  
 肛門病科 皮膚科  
 花柳病科 泌尿器科  
**北川外科**  
 平市藤川町(電話四六四番)  
 診察晝夜 入院隨時 醫學博士 北川 芳夫  
 (血液検査毎日) 技師 三浦 常保

耳鼻咽喉科専門  
**高柳醫院**  
 醫學博士 高柳 博明  
 平市驛前(電話三三六)

酒 銘 清世界  
**釀造元 清水屋本店**  
 電話六番

季節珍味  
**小鳥料理**  
 鐵道省指定旅館 小瀧  
 小名濱町郊外 電話小名濱一〇三番

契約者本位 一家の延長として  
**湯本無盡**  
 御加入を御すすめする